

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合演習6③							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・夜間部	3年	2期	中根 わたる				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	総合領域			座学	1	10	
科目概要							
鍼灸師として必要な疾患の知識を定着させ、鑑別ができる応用力を身につけるため、1.2年次に学んだ専門基礎・専門分野を中心として、教科を横断した学習を行う。							
目標							
一般目標(GIO) 本職職を学習することで達成されるべき目標		<ul style="list-style-type: none"> ・はりきゅう理論：鍼灸師に必要な知識を複合的に学習し、知識の定着と応用力を身につけるために、2年時に学んだ専門基礎分野を中心とした複合課題に対し、教科を横断した学習を行う。 ・臨床医学総論：鍼灸師として正確なしんだん・検査・鑑別ができるようになるために必要な基礎知識を習得する。 将来、患者の病態を的確に把握し、それに応じた施術ができるだけでなく、患者の QOLを最大限高めるための幅広い能力を備えた施術者となることを目指す。 					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		<ul style="list-style-type: none"> ・はりきゅう理論 <ol style="list-style-type: none"> 1. 鍼の材質、取り扱い、サイズなどについて選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 2. 艾の材質、取り扱い、質の善し悪しについて選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 3. 消毒法や治療上のリスク管理についての選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 4. 治効機序について生理学の見地から選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 5. 治効機序に関連する学説について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 ・臨床医学総論 <ol style="list-style-type: none"> 1. 診察について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 2. 体型、姿勢、歩行、リンパについて選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 3. 身体各部位、各臓器について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 4. 検査法(感覚・反射)麻痺について選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 5. 検査法(整形外科・生理学的・一般)・頭痛・顔面痛・めまい・胸痛・腹痛・下痢などについて選択肢を提示されたら正解肢を選び出せる。 					
教科書読解能力(専門用語を調べる能力)							
教科書・参考書							
東洋療法学校協会編はりきゅう理論							
受講上の注意							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)		100					100
毎回小テストを実施する							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	鍼灸治療の道具について			はりきゅう理論 P3～P25			
第2回	診察について			臨床医学総論 P1～49			
第3回	鍼の術式と特殊療法・鍼灸刺激の臨床応用とリスク管理			はりきゅう理論 P9～19・P26～42			
第4回	体型、姿勢、歩行、リンパについて			臨床医学総論 P50～70			
第5回	鍼灸治効の基礎(受容器、神経、伝導路、反射)			はりきゅう理論 P43～53			
第6回	身体各部位、各臓器について			臨床医学総論 P71～104			
第7回	鍼灸治効の基礎(受容器、神経、伝導路、反射) 鍼鎮痛と灸の防御作用			はりきゅう理論 P54～70			
第8回	検査法(感覚・反射)運動麻痺、失調について			臨床医学総論 P105～144			
第9回	一般治効理論・関連学説			はりきゅう理論 P71～P105			
第10回	検査法(整形外科・生理学的・一般)・頭痛・顔面痛 めまい・胸痛・腹痛・下痢などについて			臨床医学総論 P145～211			
メールアドレス							
nakane@nihonisen.ac.jp							